

## 第27回石川建築賞 受賞作品

### 知事賞 金沢大学自然科学系図書館

設計者: (株) 山下設計・大成建設(株) 設計共同体

施工者: 大成建設(株) 北信越支店



新設の図書館を既存建築群に結びつけ一体化する優れた動線計画とそれによる機能配置が成功している。

館中央のトップライトを持つ大きな円形の吹き抜けは、階段による上下の交通と館中央部の採光を与え、ドラマティックな空間を創っている。また自然換気排気システムを考案し、採光とともに優れた環境条件を作っている。既存部分へのゲートウェイをなすファサードは精緻で比例も良く清潔なデザインである。

### 優秀賞 津幡町文化会館 シグナス

設計者: (株) 五井建築設計研究所

施工者: 鹿島・豊蔵・岡特定建設工事共同企業体



オーディトリウム、図書館、生涯学習研修施設という異なる機能のものを、玄関ホール、ホワイエ等の動線空間を融合させて結合し、この空間を利用者の交流空間とする構成が優れている。オーディトリウムも観客席から舞台への眺望、舞台周り構成、音響効果がよく考えられている。吹き抜け中央に円形の視聴覚ホールを載せた図書館空間の造形はユニークである。三つの施設の大きな量塊を、ファサードの表情を変化させて組み合わせさせて外観を破綻なく纏めている。

## 優 秀 賞 武腰一憲邸

設計者：松島健建築設計事務所 施工者：カルナホーム（株）



幕末に創建され八十年代の増築部を持つ住宅のリニューアルである。幕末創建部の後方主要居室部分を残して改造し、その玄関部と前方部分及び増築部を撤去して新築するという選択と手法に優れている。幕末部居室部分のギャラリー、応接室等への改造は、既存の伝統的造形の文脈を生かしつつ現代的空間を割りあげた造形に成功している。新築部の構成もポーチから内部へのアプローチ、既存部と新築部の取り合いの構成が熟考されている。

## 入 選 割烹 いしや

設計者：(株)平口泰夫建築研究室  
施工者：真柄建設（株）



築三十年の鉄骨造料理店のリニューアルである。既存構造を残し、それを新設の打放しコンクリート壁及びガルバリウム鋼板で覆って新しい現代的外観を与え、解体費用を抑えるという選択と手法が優れている。外壁と客席の間、また客席間に、伝統的意匠をモダナイズした造形の庭と通路、水底という中間領域を配した内部空間構成が巧みである。

## 入 選 なかじま猿田彦温泉 いやしの湯

設計者：水野一郎 + 金沢計画研究所 施工者：(株)宮地組



玄関部から休憩ホール、湯殿へと床レベルを上げて、敷地と海岸水際との間にある道路からの湯殿のプライバシーを守りつつ、湯殿に開けた海の眺望を最大限与えるという計画が優れている。またガラスで覆われた浴室部に角柱状と円筒状の背の高い湯桶室を嵌め込む構成は、浴室に対比的な内部空間造形を与えるとともに、施設外観にユニークなシルエットとシンボル性を与えている。

## 入 選 白山市民工房 うるわし

設計者：(株)五井建築設計研究所 施工者：兼六建設(株)



築約20年の鉄筋コンクリート造事務所建築の文化研修施設へのリニューアル/コンバージョンである。前面部に1スパンの増築を行って、ロビーとその吹抜け空間、工房、会議室等の空間を確保し、既存部分に展開する展示、研修、演劇/舞踏練習場等に十分な面積を与えること、さらに前面に新しいファサードを創って、建築に全く新しい外観を与える計画、造形が優れている。

## 入 選 福増南交流館

設計者：谷重義行+建築造形研究室 施工者：(株)宮本工務店



小規模の公民館建築であるが、集成材の陸梁を主体とする塾考された構造を用いることによって、四十畳の無柱空間を確保するとともに、主室を付属室に傾けて対させて変化に富む半戸外的土間空間を創造している。直方体的な抽象的外観に黒染下見板を張って周囲の伝統的家屋の形態との連続性を保っている。小さな角塔状の消防器具庫がランドマーク性を与えている。

## 入 選 志賀町の家

設計者：吉島衛建築研究室 施工者：北国建設(株)



一階に寝室、客室、浴室などの閉鎖性が要求される諸室を置き、高さによって周辺からの視線を避けるために、二階にリビング、ダイニング、キッチンをワンルームとして配置し、北面の壁全面を開口して、広闊な眺望を可能にした構成が優れている。ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺を用いた直方体の外観構成、また内部のディテールの収まり等は精緻な構成である。